

(仕様書第 3 号様式)

かながわコミュニティカレッジ運営業務実施報告書

令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月

(作成日 令和 5 年 3 月 31 日現在)

1. 業務の名称

かながわコミュニティカレッジ運営業務

2. 実施した業務の内容、所見等

(1) 講座企画・編成方針、講座開催計画

●講座実施団体、講師等との企画調整

今年度も新型コロナウイルス感染症対策に関する神奈川県への対応方針に従い、講座開催計画に沿って全 34 講座 (36 件) を開催しました。計画時から講師や日程が一部変更になった講座や、コロナ禍で自宅待機中の講師がオンラインで講義を行ったケースもありましたが、それぞれ滞りなく実施することができました。

●ボランティア活動未経験者層に向けた講座の開催

これまでボランティア活動の経験がない方が参加しやすい講座として、下記の要領で無料のオンラインセミナーを開催し、講演の後に、かながわコミュニティカレッジ講座の紹介も行いました。本セミナー参加後、講座に申し込まれた方が複数名いらっしゃり、参加者が次のステップへつながるきっかけを提供できました。

日 時：7 月 3 日 (日) 13:30～15:00 オンライン

参加者：オンライン 88 名 会場聴講 5 名 計 93 名 (申込数 105 名)

テーマ：人生 100 歳時代 地域で学び、地域で活躍しよう

内 容：(第 1 部) 講演「絵巻物で読み解く江戸の市民社会

～エコでボランティアな江戸の町に学ぶ」

講師 椎野修平氏 (認定特定非営利活動法人日本 NPO センター特別研究員)

(第 2 部) かながわコミュニティカレッジの紹介

●アーカイブ配信の実施

・今年度はオンライン講座を中心に、下記の講座でアーカイブ配信を実施しました。

災害ボランティア入門講座

NPO 会計講座

NPO ボランティア団体の活動と運営 基礎講座

NPO・ボランティア団体の活動と運営 実務講座

新聞記者に学ぶ情報発信スキルアップ講座

～人に伝わる文章を書く技術を学ぶ～ (NPO 活動・地域活動向け)

新聞記者に学ぶ広報紙作りの基礎講座 (NPO 活動・地域活動向け)

発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座 (実践編)

人生 100 歳時代 地域で学び、地域で活躍しよう

8 講座 27 本

●フォローアップ講座・勉強会の実施

仲間作りや実施団体とのつながりを深め、次の活動につなげるためのバックアップを目的に、講座実施団体等が実施するフォローアップ企画を支援しました。年度後半にコロナが収束したこともあり、今年度は昨年を上回る実施回数となりました。

(フォローアップ企画の実施状況)

【主催講座】	聞き書きボランティア養成講座	3回実施
	大人になって知る発達障がいとひきこもりを考える講座	7回実施
	発達障がい児地域支援コーディネーター基礎・実践	9回実施
	地域活動リーダー養成講座	1回実施
【連携講座】	防災教育ファシリテーター養成講座	7回実施
	野生動物リハビリテーター養成講座	1回実施
	「歌うチャームング体操」リーダー養成講座	2回実施
	子どもシェルターのボランティア養成講座	1回実施

●講義室における感染症拡大防止対策

感染症拡大防止対策は継続して行いました。以下の対策を受講生にも周知しています。換気をこまめに行い、検温、手指消毒などを徹底しました。

- ・両講義室の定員は30名までとする
- ・各机に1名着席とし、一人ひとりの間隔を取る
- ・講義室内は定期的に換気を行う
- ・受講生、講師、スタッフはマスク着用
- ・手洗い、手指消毒の励行を呼びかける
- ・受講前に自宅で検温のお願いと受講当日も入口で検温をする
- ・発熱者や具合の悪い方の出席は控えていただく
- ・講義室は使用後に机・椅子などの清掃・消毒作業を行う
- ・受講生に「神奈川のLINEコロナお知らせシステムへの登録」の案内を配布

(2) 受講生募集のための広報について

- ・主催講座と連携講座の募集案内をそれぞれ作成し、県内の公共施設等に配架依頼をしました。
- ・令和4年度年間講座スケジュール(年間パンフレット)を作成し、5月末に各講座の募集案内と一緒に公共施設等へ送付しました。
- ・講座情報を下記の媒体を通じて告知しました。
県のたより、かながわコミュニティカレッジのホームページ(県のHP及び当団体運営HP)、講座修了生向けメール、ボランティア活動サポート課TwitterやFacebook、NPO協働推進課のメルマガやFacebook、基金事業課のメルマガ、県のTwitterやFacebook、いのち・未来戦略本部室SDGs推進グループのメルマガ、消費生活課消費者教育推進グループのTwitter、Facebook等
- ・当団体運営のコミュニティカレッジホームページで、令和4年度の講座報告として、講座の写真と紹介文を掲載しています。 URL <https://komikare.soco-kana.jp/>

(3) 自由企画提案業務など

修了生の地域・社会活動への参加促進や活動支援のため、以下の取り組みを行いました。

●受講生交流会の実施

かながわコミュニティカレッジ修了生・受講生を対象に、受講生交流会を開催しました。受講生が互いの近況や活動状況を情報交換し交流することで、活動の活性化や今後の活動に向けたモチベーションの継続につなげることを目的としています。

今年度の交流会は、会場とオンラインでそれぞれ参加希望をとり、ハイブリッドで開催しました。受講生交流会のハイブリッド開催は初めてであり、運営面で支障がないよう、音響映像のサポート人材を外部団体から招き、交流会開催を技術面でサポートいただきました。

日 程：令和5年1月14日（土）13時30分～15時30分 ハイブリッド開催

参加者：会場 15名 オンライン 13名 計 28名

参加費：無料

内 容：地域活動事例紹介

＜食を介した心豊かな地域共生づくり

移動式地域食堂「ふらっとカフェ鎌倉」の取り組み＞

講師：一般社団法人ふらっとカフェ鎌倉 代表理事 渡邊公子氏

参加者交流会（会場4・オンライン3グループに分かれて情報交換・交流
ファシリテーターがサポート）

相談窓口からのご案内

●修了生及び登録者への定期的なメール配信

県から預かった修了生のメールアドレス（メール配信を希望された方のみ）、県のホームページ経由で登録希望のあったメール配信希望者、及び受講届出書・最終回アンケートで希望された方に宛てて、講座情報や相談窓口の案内を記載したメール情報を配信しました。

（直近の配信数 3,534 件）

●修了生アンケートの実施

令和3年度の主催講座修了生に対して、調査票を郵送して修了生アンケートを実施しました。調査概要は以下のとおりです。

期 間：令和4年6月15日～7月30日

対 象：令和3年度に開講した主催講座（24件）の修了生（419人、延べ修了者数 520人）

回答数：144人（延べ回答者数 172人）

回答率：34.4%（延べ回答率 33.1%）

- ・ 回答者のうち 142 人（82.6%）は、講座がその後の地域活動や生活に「役立った」と感じている。
- ・ 受講後の変化について、何らかの地域活動を「行っている」が 115 人（66.9%）、うち 24 人は「講座受講をきっかけに活動を始めた」と回答している。
- ・ 「現在、地域活動を行っていない」が 57 人（33.1%）、うち 38 人は「今後何らかの活動を行ってみたい」と回答している。
- ・ 「地域活動を行っていない」と回答した人が活動が出来ない理由として「自分にあった活動内容・活動先が見当たらない」と「多忙である」の回答が最も多かった。

●修了生近況報告の収集

アンケート送付時に「近況報告シート」を同封したところ、多くの修了生から近況報告を返送いただきました。返送された「近況報告シート」は 11 階講義室の外壁に設置したコミュニケーションボードに掲示しました。前年度受講生の近況や活動などの報告は、これから受講するに当たっての具体的なイメージとなり、多くの方が足を止めて読んでいました。

●コミュニケーションボードの活用

11 階壁面を使ったコミュニケーションボードに、修了生から送られた「近況報告」を掲示しています。また、掲示板にはコミュニティカレッジからのお知らせや、県内支援機関の講座やイベント案内チラシ等を、受講生の目に触れるよう掲示しました。講座の開始時間前や休憩時間に足を止めて読んでいる方を見かけます。

後半になるにつれ、講座案内が少なくなりますが、講座実施団体の方からいただいた季節の折り紙作品なども飾り、明るくなるよう工夫しました。

●市町の支援センター情報の提供

神奈川県内の市民活動支援施設が定期的に発行している情報紙（28ヶ所）を、2つの講義室内にそれぞれ設置しているラックに配架して、受講生の活動に役立つ情報提供を行いました。

以 上